

政策	41 医療体制の充実							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民							
施策が目指す姿	身近な医療から救急医療まで様々な段階の医療を受けられる環境が整っている。 国民健康保険制度や後期高齢者医療制度の健全な運営が図られている。							
成果指標	地域医療についての市民満足度...5年間で62%（現状値60.3%） 救急車が病院に受入照会をした時に、1回目の照会で受入した割合（産科・周産期、小児を除く重症以上傷病者）...5年間で100%（現状値78.8%）							
目標達成状況		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	成果指標1 [ % ]	予定				62.00	▲	
		実績						
	成果指標2 [ % ]	予定	78.80	80.00	80.00	90.00	100.00	▲
		実績	78.00	80.20				
	成果指標3 [ ]	予定						▲
		実績						
	成果指標4 [ ]	予定						▲
実績								
トータルコスト (千円)	予定	23,916,860	23,912,666	23,359,013	0	0	▲	
	実績	24,437,636	23,858,074	23,359,013	0	0		
内部評価	貢献度	基本施策の目指すべき姿である「健康で生きがいを持てるまちづくり」を進めるうえで、本基本施策「医療体制の充実」の貢献度は高い。						
	達成状況	1回目の照会で受け入れした割合は、80.2%で目標を達成できた。						
	課題	市民満足度を上げるため、さらに関係機関と連携を図る必要がある。また、救急医療体制の充実に向け、救急車の受け入れ改善を図る必要がある。						
	取組方針	安定した医療体制を図るため、医療従事者の確保に努めるよう働きかけを行うとともに、関係機関との連携を強化する。						
外部評価	<p>指標に地域医療の充実を掲げているが、その点から市に救急医療病院があることは心強い。ただ、救急医療を受診したのに長い時間待たされることも多々あるようなので、計画にも書かれているが、適正な利用が行われるよう引き続きPRはしていただきたい。</p> <p>また、救急車の利用に関しても、軽症での利用も多々あるようだが、脳梗塞等のように軽症のように見えるが、ほっとくと重篤になる場合もあるので、この救急車の利用に関しても適切な利用が行えるようPRをお願いしたい。</p> <p>単位施策の指標にもなっているが、かかりつけ医を持った方が良いことをぜひ、PRしていただきたい。身近なところに相談医を持つことがこれからもっと重要になると思われる。5年後の指標で高齢者のかかりつけ医の割合が80%を超えるよう努めていただきたい。</p>							
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	4101	地域医療の充実				508,426	100	
	4102	救急医療体制の充実				134,082	95	
	4103	社会保険安定運営				23,215,664	90	

## 基本施策評価表 補表

施策	41 医療体制の充実		
区分	妥当性	妥当	市民が安心して住み慣れた地域で健やかに暮らし続けることのできる環境整備のため必要な事業である。
	コスト削減の余地	無	医療体制や社会保険の安定運営のためコスト削減は困難である。
	受益者負担	適正	社会保険制度を運営するにあたり、適正な負担をしていただいている。
	上位貢献度	有効	基本方針「健康で生きがいを持てるまちづくり」に対する貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	類似事業はない。
	成果向上の余地	有	救急体制の充実を図ることで1回目の照会で救急車を受け入れた割合が高くなり、市民満足度が向上するものと考えられる。
内部評価	貢献度	基本方針である「健康で生きがいを持てるまちづくり」への貢献度高い。	
	達成状況		
	課題	産科や小児科の医師不足がある。 医師の働き方改革により、救急医療について注視する必要がある。	
	取組方針	医療体制の充実を図るため、県や地域の医師会とともに、医師の確保について病院等への働きかけを行う。 また、社会保険安定運営の為、滞納処分の強化や口座振替の推進等の収納率向上対策を積極的に実施し収納率の向上を図るとともに、生活習慣病の重症化予防等の効果的な保健事業を実施し医療費の抑制を図る。	